



全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第3戦 京都美山サイクルロードレース 個人ロードタイムトライアル大会

- 主催 美山サイクルロード実行委員会 日本学生自転車競技連盟
- 主管 京都府自転車競技連盟 美山サイクリングクラブ 西日本学生自転車競技連盟
- 後援 (予定)南丹市 京都新聞社 αステーション KBS 京都 京都丹波まるごとスタジアム化推進協議会
- 特別協賛 サンボルト
- 協賛 (予定)サンボルト(株)シマノ MAVIC
- 協力 (予定)ウィーラースクールジャパン
- 支援 (予定)京都府警察本部 南丹警察署 京都中部広域消防組合園部消防署

Comunique No.1
平成 30 年 5 月 22 日
チーフコミッサー 濱井 武
大会総務委員長 北山 一樹

1.会場・駐車場について

26日(土)TT 駐車場 鶴ヶ岡小学校 [GoogleMap](#)(8:30~から使用可能 駐車無料)

〒601-0762 京都府南丹市美山町鶴ヶ岡宮ノ前2 3-2

会場 京都府南丹市美山町鶴ヶ岡タナセン前メイン会場

27日(日) ロード会場 〒601-0751 京都府南丹市美山町島島台 52

南丹市役所美山支所・南丹立美山小学校(旧 宮島小学校)前

美山中学校グラウンド 収容台数 260 台/メイン会場より北へ約 300m 京都府南丹市美山町静原桧野 10-1 [GoogleMap](#)

5月27日(日) 6時~(係員対応開始)

27日のロードレースに限り美山中学校グラウンドに駐車を認める。各校1台/500円を係員に支払うこと。

入構時に必ず入構許可証を係員に提示する事。許可証がなければ如何なる理由があろうが入れない。

上記以外の駐車は学連選手一律に長谷運動公園 収容台数 150 台 /メイン会場より西へ約 2 キロ

京都府南丹市美山町長谷中西通り 108 となるので注意すること。 [GoogleMap](#)

違反が発覚した場合は 3,000 円/件のペナルティーを課すので注意すること。

2.コースについて

26日(土)個人ロードタイムトライアル





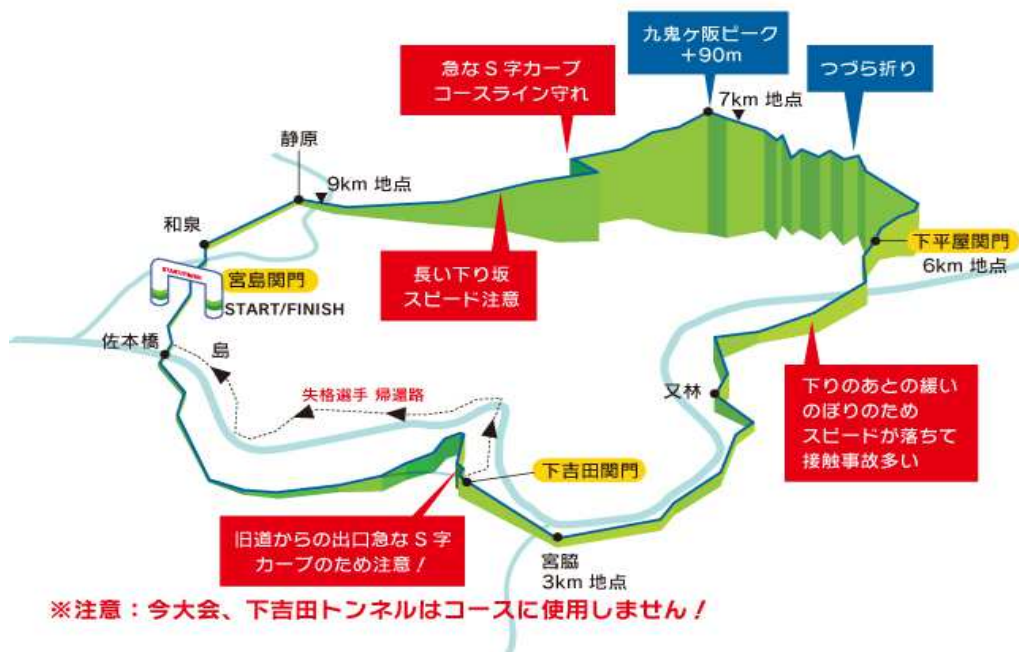
全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第3戦 京都美山サイクルロードレース 個人ロードタイムトライアル大会

- 主催 美山サイクルロード実行委員会 日本学生自転車競技連盟
- 主管 京都府自転車競技連盟 美山サイクリングクラブ 西日本学生自転車競技連盟
- 後援 (予定)南丹市 京都新聞社 αステーション KBS 京都 京都丹波まるごとスタジアム化推進協議会
- 特別協賛 サンポルト
- 協賛 (予定)サンポルト(株)シマノ MAVIC
- 協力 (予定)ウィーラーズスクールジャパン
- 支援 (予定)京都府警察本部 南丹警察署 京都中部広域消防組合園部消防署

Comunique No.2
 平成 30 年 5 月 22 日
 チーフコミッサー 濱井 武
 大会総務委員長 北山 一樹

1.コースについて

27日(日)ロードレース



下記 URL よりコース紹介が記載されているので必ず出場選手全員(TT・ロード)熟読すること。

<http://www.cyclingmiyama.com/miyamaroad/>



全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第3戦京都美山サイクルロードレース 個人ロードタイムトライアル大会

主催 美山サイクルロード実行委員会 日本学生自転車競技連盟
主管 京都府自転車競技連盟 美山サイクリングクラブ 西日本学生自転車競技連盟
後援 (予定)南丹市 京都新聞社 αステーション KBS 京都 京都丹波まるごとスタジアム化推進協議会
特別協賛 サンポルト
協賛 (予定)サンポルト(株)シマノ MAVIC
協力 (予定)ウィーラーズスクールジャパン
支援 (予定)京都府警察本部 南丹警察署 京都中部広域消防組合園部消防署

Comunique No.3

平成 30 年 5 月 22 日

チーフコミッサー 濱井 武

大会総務委員長 北山 一樹

1. スタートについて

コミッサーの指示によりパレード解除がされた後に正式スタートとする。それまで安全な走行をするよう注意すること。

※日曜日のロードレースは、第2戦終了後のシリーズチャンピオンは最前列スタート、その後ろにクラス1、あとは並び順とする。

2. 補給機材交換について

主催者は共通器材車を用意する。(主催者が用意する代輪はシマノ 11 速のみである)

補給、機材交換が認められるのは下平屋地点内に補給地点スタート、終了の看板内で補給、代輪の交換を行うこと。下平屋の地点までは無料運行バスが出ているので下平屋地点までは必ず当日運行している無料運行バスを利用して行くこと。

無料運行バスはゴール地点手前の美山郵便局 [GoogleMap](#) より運行するので(当日は3台のバスで運行)下平屋地点に行く場合は必ずバスに地点まで行くこと。如何なる理由があろうと徒歩、自転車、車を利用して決して行かないこと。

3. ゼッケン位置、返却について

ゼッケンの取り付け位置は下記のとおりとする。

大会終了後、ゼッケン、計測チップをファイルに入れ大会受付(学連受付側)に返却すること。なお、ゼッケンの紛失、未返却、計測チップの紛失、未返却にはペナルティーを課すので注意すること。**計測チップの紛失、未返却には実費を請求するので注意すること。**



左右 5 センチ以上離してつけること

4. 計測チップの取り付けについて

本大会は計測チップを取り付ける。計測チップは必ずフォークに取り付けること。フォーク下部より 15 センチ離して取り付けすること。

計測チップは上記図のように個人登録されているので必ず自分の計測チップを取り付けること。(取り付けはフォーク左右どちらでも構わない)

5. コースについて

大会当日以外でのコースの下見、試走は可能であるが公道であるため交通ルールを守り、逆走等絶対に無いよう注意すること。

試走する場合は、交通規則に適合した自転車(ベル・反射板必須)で行うこと。

公道をお借りして走ることを念頭に置き、各選手は試走及びレースを行うこと。

土曜日 午後 2 時～午後 4 時ごろまで(規制時間中、全面通行止めになるが、約 20 分ごとに、規制が解除され通行できる。)

日曜日 午前 8 時～午後 12 時 15 分(規制時間中、15 分ごとに規制は解除されるがコース内は反時計回りに一方通行になる。)



全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第3戦京都美山サイクルロードレース 個人ロードタイムトライアル大会

主 催 美山サイクルロード実行委員会 日本学生自転車競技連盟
主 管 京都府自転車競技連盟 美山サイクリングクラブ 西日本学生自転車競技連盟
後 援 (予定)南丹市 京都新聞社 aステーション KBS 京都 京都丹波まるごとスタジアム化推進協議会
特別協賛 サンポルト
協 賛 (予定)サンポルト(株)シマノ MAVIC
協 力 (予定)ウィーラーズスクールジャパン
支 援 (予定)京都府警察本部 南丹警察署 京都中部広域消防組合園部消防署

Comunique No.4

平成 30 年 5 月 22 日

チーフコミッサー 濱井 武

大会総務委員長 北山 一樹

1.ゴミ投棄厳禁の徹底

ゴミは各校で必ず責任を持って持ち帰ること。競技中の選手がボトル・食料・ゴミを道路上に落とすことができる区間は、補給エリアに限定される。チーム関係者は選手の安全を第一に回収に協力すること。他の区間でのボトル・食料・ゴミの廃棄は禁止する。廃棄した競技者は 3,000 円/件のペナルティーを課す。

2.失格時・途中棄権時の注意事項

失格となった選手はレーサージャージを裏返してゼッケンが見えないようにすること。なお、下平屋地点で打ち切りになった選手は、関門地点で収容車に自転車を積み込み、選手は選手回収車、もしくは大会専用バスに必ず乗車し大会本部前に戻ることに。

打ち切りになった選手は関門地点の審判の指示に必ず従うこと。自ら途中棄権をした競技者は、関門地点の審判員に棄権した旨を必ず申告すること。

3.打ち切り時の自転車の対応について

下平屋地点で打ち切りになった選手は関門にて打ち切りにあった選手の自転車は収容車によって回収される。自転車はゴール手前の郵便局前で下されるので打ち切りになった選手は自転車を取りに行くこと。[GoogleMap](#)

4.バイクチェック 出走サイン時間の変更について

選手はスタート時刻の 15 分前までにバイクチェック、出走サインを済ませて指定場所で待機すること。

本大会は美山サイクルロードレースと同時開催であり、また、多数の参加者がいることから選手はスタート時刻の **30** 分前までにバイクチェック、出走サインを済ませて指定場所で待機すること。

5.その他

学連ジュニア選手のギヤ比の制限は行わない。

公道を走行可能な装備(ヘルメット、後方反射板または反射テープ)必ず装着すること。(RCS 共通)

表彰式は大会終了後、土曜日は TT ステージ前、日曜日は大会本部前、特設ステージにて準備が整い次第行う。表彰式はチームウェア着用、服装を整えたくて参加すること。サンダル履き、帽子の着用、サングラス掛けは禁止する。

RCS リーダーはリーダージャージを必ず着用すること。

本レースは美山サイクルロードレースと同時開催であるが、選手は学連の規則、規律に基づき運用を行う。

会場まで交通ルールを守り安全に来ること。運転手は同乗者の命を預かっていることを決して忘れてはならない。